

◎昭和40年度第10回理事会(41.3.25)出席者:岡部会長,山内副会長,羽田専務理事,青木,伊藤,久保,近藤,篠原,多谷,鉄,富所,成岡,藤田,町田,松尾,森垣,佐藤の各理事,井関監事。議事録署名理事の決定:岡部会長,羽田専務理事。A.報告事項:つぎの各項目について羽田専務理事より説明があり了承された;1)会計報告。2)刊行物頒布報告。3)各種委員会その他。4)役員候補者選考委員会報告。B.協議事項:1)昭和41年度事業計画案につき羽田専務理事より説明があり可決された。2)昭和41年度予算について羽田専務理事より詳細に説明があったのち種々協議した。3)都市再開発講演会の開催を承認。4)日本工学会次期副会長候補者推薦依頼について。5)第2回評議員会開催について。6)その他。7)委員の委嘱について

- ① 海外連絡委員会  
委員 和仁 達美 国鉄副技師長
- ② 大学土木教育委員会  
委員 林 泰造 中央大学理工学部  
委員 赤井 浩一 京都大学工学部  
幹事 井上 平 国鉄施設局管理課  
川本 正知 建設省大臣官房技術調査官  
高橋 裕 東京大学工学部  
堀井健一郎 早稲田大学理工学部
- ③ 岩盤力学委員会  
常任委員 石崎 昭義 国鉄建設局調査課
- ④ 土木年鑑編集委員会  
委員長 八十島義之助 東京大学工学部  
副委員長 片山 祐一 KK建設技術研究所  
委員 本 茂 出版企画委員会委員長  
竹間 弘 中央大学理工学部  
樋口 芳朗 鉄道技術研究所構造研究室  
藤吉 三郎 建設省建設機械課  
山本 安一 鹿島建設KK土木見積部  
川越 達雄 建設省建設振興課  
玉村 栄二 都首都整備局計画第2部  
村山 幸雄 建設省都市局都市計画課  
大橋 文雄 厚生省環境衛生局水道課  
久保 起 建設省都市局下水道課  
永岡 乙哉 通産省工業用水課  
池原政一郎 国鉄線増課  
吉橋三七郎 運輸省民鉄土木課  
小出 梅雄 電公社建設局土木課  
豊田 栄一 建設省道路局企画課  
多田 安夫 建設省土研構築研究室  
篠原登美雄 運輸省港湾局建設課  
林 鋼太郎 運輸省航空局建設課  
帯 猛 建設省河川局治水課  
松本 茂樹 通産省公益事業局水力課  
竹内 良夫 経済企画庁総合計画局  
宣制 労働省産業安全研究所  
増岡 康治 建設省大臣官房技術調査官

- 阿部 泰彦 科学技術庁資源局専門調査官
- 北川 博正 建設省計画局調査統計課
- 日吉 三友 大成建設KK東京支店土木部
- 藤田 圭一 KK間組技術局
- 藤井 隆一 西松建設KK土木設計部
- 大迫 公克 防衛施設庁
- 杉田 栄司 農林省農地局建設部開墾建設課
- 幹事 南部 祥一 国立公衆衛生院
- 成瀬 輝男 石川島播磨重工業KK
- 本山 弱 建設省大臣官房
- 市川 芳忠 電源開発KK水力開発部

◎各種委員会

- (1) 土木年鑑編集委員会第1回幹事会(41.2.21)出席者:八十島委員長,片山副委員長,ほか5名。議事:1)編集方針の確立。2)目次試案の作成。
- (2) シールド工法小委員会幹事会(41.2.21)出席者:西嶋委員長,遠藤副委員長,ほか10名。議事:1)シールド工事調査項目について。2)今後のとりまとめ方について。3)その他。
- (3) 第2回吉田賞選考委員会(41.2.22)出席者:福田委員長,国分副委員長,ほか12名。議事:1)経過報告。2)予選について。3)吉田研究奨励金候補の選考について。4)第3回委員会について。
- (4) 吉田研究奨励金被授与者選考小委員会(41.2.22)出席者:岡田委員長,ほか8名。議事:1)委員長の選出。2)吉田研究奨励金被授与者および交付金額の内定。
- (5) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(41.2.23)出席者:河野主査,ほか7名。議事:鉄筋コンクリート標準示方書改訂について逐条審議。
- (6) トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究委員会(41.2.23)出席者:坂本委員長,ほか10名。議事:1)アーチ支保工用鋼管の屈服現象。2)土研における実験結果。3)今後の方針。
- (7) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会軽量骨材コンクリート分科会(41.2.24)出席者:関係者3名。議事:軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)について,逐条審議(4章 軽量骨材の取り扱い,その他)。
- (8) 会誌編集委員会(41.2.25)出席者:樋口委員長,ほか15名。議事:1)原稿投稿状況報告。2)会誌51巻4号編集報告。3)依頼原稿について。4)会員からの投書について。5)投稿要項改訂について。6)委員交代の件。
- (9) 第2回トンネル土工調査小委員会(41.2.25)出席者:村山委員長,ほか13名。議事:1)経過報告。2)トンネル

土工調査測定法の検討;①建設省,②国鉄。

- (10) 土木振動学便覧編集小委員会打合せ(41.2.25)出席者:大地委員長,ほか3名。議事:1)章間のとりまとめ経過について。2)未着原稿について。3)今後のスケジュールについて。
- (11) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会型わく支保工に関する分科会(41.3.1)出席者:上前主査,ほか2名。議事:無筋コンクリート標準示方書改訂のため,型わく支保工に関する条文につき逐条審議を行なった。
- (12) 第10回文献調査委員会(41.3.2)出席者:高橋委員長,ほか12名。議事:1)会誌51巻5号登載抄録について。2)解説記事について。3)国際会議論文集の文献目録欄への登載について。4)委員交代について。5)その他。
- (13) 会誌編集委員会書評小委員会(41.3.2)出席者:高橋小委員長,ほか3名。議事:会誌51巻4号登載書評の決定。
- (14) 本州四国基礎にする専門部会第8回地盤調査幹事会(41.3.3)出席者:関係者18名。議事:省略。
- (15) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会軽量骨材コンクリート分科会(41.3.3)出席者:関係者3名。議事:軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)について逐条審議(7章 コンクリート打ちおよび養生・その他)。
- (16) 第17回学術講演連絡委員会(41.3.3)出席者:林委員長,ほか4名。議事:昭和41年度夏期講習会のテーマについて。
- (17) 会誌編集小委員会(41.3.4)出席者:樋口委員長,ほか6名。議事:1)会誌51巻5号編集の件。2)懸賞論文募集題目内定。3)その他。
- (18) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(41.3.4)出席者:関係者8名。議事:省略。
- (19) 鉄コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(41.3.4)出席者:河野主査,ほか8名。議事:鉄筋コンクリート標準示方書改訂について逐条審議。
- (20) 岩盤力学委員会第2分科会(第19回)出席者:飯田主査,ほか7名。議事:1)検層の測定器について。2)ローディングパターンについて。3)測定計器のリストアップについて。
- (21) 吉田賞選考委員会幹事会(41.3.4)出席者:関係者2名。議事:1)第2回吉田賞選考委員会および吉田研究奨励金被授与者選考小委員会の議事録の作

成。2) 決選投票の依頼について。

(22) 大学土木教育委員会打合せ(41.3.5) 出席者: 米屋前委員長, 嶋前幹事長, ほか2名。議事: 第2期委員会発足について打合せを行なった。

(23) 土木年鑑編集委員会 第2回幹事会(41.3.8) 出席者: 八十島委員長, 片山副委員長, ほか7名。議事: 1) 幹事目次試案作成・説明。2) 幹事会目次作成のための討議。3) その他。

(24) 第2回表彰委員会主査幹事会(41.3.9) 出席者: 岡部委員長, ほか4名。議事: 1) 予選投票開票。2) 決選に付候補の決定。3) 第2回委員会の議事運営について。4) その他。

(25) 第3回軟弱地盤耐震設計研究委員会(41.3.9) 出席者: 岡本委員長, ほか16名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 経過報告。3) 昭和40年度報告書(案)について; ①設計事項, ②調査検討事項, ③委員会議事録。4) 昭和41年度の研究計画について。

(26) 本州四国連絡橋技術調査委員会打合せ(41.3.10) 出席者: 関係者3名。議事: 省略。

(27) 海外連絡委員会(41.3.10) 出席者: 関係者12名。議事: 1) Civil Engineering in Japan 1966版について。2) 昭和41年度事業計画および予算について。3) 1966年度学術関係国際会議に日本学術会議所管の国費派遣者候補者推薦について。4) スウェーデン・コンサルティング会社(V.B.B)の技師:S. Rorenström氏による見学, その他幹旋依頼申込みについて。

(28) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会 軽量骨材コンクリート分科会(41.3.11) 出席者: 関係者4名。議事: 軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)について 逐条審議(1章 総則, 2章 軽量骨材, その他)。

(29) 高校土木教育研究委員会(41.3.12) 出席者: 関係者11名。議事: 1) 委員会規則改正について。2) 水理実験指導書編集専門分科会の進行状況。3) 学習指導要領の検討について。4) 高校土木教育白書(仮称)の企画案について。5) 土木教育用「技術スライド」の企画について。6) 委員, 幹事の交代と選出方法。7) 41年度事業計画および予算。8) その他。

(30) 第33回原子力土木技術委員会(41.3.14) 出席者: 左合委員長, ほか9名。議事: 1) 講演「環境汚染の問題」について: 立教大学田島氏。2) 前回議事録の確認。3) 第3回理工学における同位元素研究発表会について。4) 委員構

成について。

(31) 鉄筋コンクリート標準示方書改訂小委員会幹事会(41.3.14) 出席者: 河野主査, ほか8名。議事: 鉄筋コンクリート標準示方書改訂について 逐条審議。

(32) 論文賞選考委員会 主査幹事会(41.3.14) 出席者: 関係者7名。議事: 1) 審査意見および判定の集約整理。2) 決選の方法について。3) 第2回委員会の議事運営について。4) その他。

(33) 第3回河北潟干拓河口工事研究委員会(41.3.14) 出席者: 福田委員長, ほか17名。議事: 1) 委員長挨拶。2) 農政局長挨拶。3) 審議; ①導流堤の設計波浪について, ②河口部護岸堤の根入れ深さに関する水理実験について, ③その他。

(34) 第2回表彰委員会(41.3.15) 出席者: 岡部委員長, 有江技術賞主査, ほか15名。議事: 1) 経過報告。2) 決選投票の方法と決選結果の事前審議。3) 決選投票。4) 技術賞受賞候補の決定。5) 功績賞の決選の方法。6) 表彰委員の交代について。7) 第3回委員会について。8) 賞牌について。9) その他。

(35) 出版企画委員会(41.3.15) 出席者: 森委員長, 春日屋副委員長, ほか7名。議事: 1) 第5回幹事会出席者報告。2) 40年度各出版物の進捗状況報告。3) 土木年鑑'1967(仮称)の出版。4) 応用力学公式集(仮称)の出版。5) 土木工学叢書の出版。6) わかり易い土木講座の出版。7) 水理実験指導書の出版。8) 教材用土木技術スライド製作の件。9) 土木学会出版文化賞(仮称)の制定について。11) 解説“水理公式集”(仮称)の出版依頼の件。12) 測量実験指導書の出版。13) 委員の交代について。14) 昭和41年度出版物予算(案)について。15) その他。

(36) 昭和41年度役員候補者選考委員会(41.3.17) 出席者: 関係者23名。議事: 昭和41年度役員の選考について。

(37) 土木製図基準改訂委員会(41.3.17) 出席者: 菊池委員長, ほか11名。議事: 土木製図基準改訂案について; 島田幹事が作成した改訂案をもとに(現在の土木製図基準(1)にそったもの)DIN, ASA, JIS等を参考にしながら改訂点について検討した。

(38) 第2回中海干拓事業水理研究専門委員会(41.3.18) 出席者: 速水委員長, ほか19名。議事: 1) 概要報告。2) 水質汚濁調査について。3) 干拓背後地湿地田化防止対策について。4) 水理模型実験について。5) 美保湾潮流と弓浜半島侵食について。6) その他。

(39) 本州四国縮小委員会幹事会(41.3.18) 出席者: 関係者11名。議事: 省略。

(40) 本州四国第24回耐風設計小委員会(41.3.18) 出席者: 関係者19名。議事: 省略。

(41) 岩盤力学委員会 第20回常任委員会(41.3.18) 出席者: 畑野副委員長, ほか15名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 黒部ダム基礎岩盤の変形計算と実測値との比較(講演); 電研 色部委員。3) 各分科会報告。4) 「土木技術者のための岩盤力学」について。5) 昭和41年度運営方針, 委員構成について。6) 第4回岩盤力学に関するシンポジウムについて。7) その他。

(42) 岩盤力学委員会編集打合せ(41.3.18) 出席者: 岡本委員長, ほか4名。議事: 「土木技術者のための岩盤力学」の原稿の第1章 地質につき検討した。

(43) 大学土木教育委員会打合せ(41.3.19) 出席者: 林委員, ほか5名。議事: 1) 今後検討すべき問題点。2) 委員会構成。3) その他。

◎その他

(1) 日本地震工学シンポジウム打合せ(41.2.22, 日本建築学会会議室) 出席者: 武藤委員長, 石原, 梅村, 大久保, 大沢, 小林, 後藤, 福岡, 林(代土田)の各委員, 金井, 久保, 久田の各幹事。議事: 日本地震工学シンポジウム(1966)開催につき打合せを行なった。

(2) 終局強度設計小委員会(41.3.15, 土木図書館3号室) 出席者: 梅村, 青山, 本岡, 広沢の建築側各委員, 河野, 尾坂, 岡村の土木側各委員。議事: 1) 前回議事録(No. 7)の確認。2) 塑性終局強度リミットアナリシス関係用語およびその解説について審議。3) その他。

## 支部だより

◎北海道支部

(1) 技術資料第22号第2回編集委員会(41.1.20, 勸銀ビル5階) 出席者: 関係者15名。議事: 17件の初校(22件の内)を行なった。

(2) 技術資料第22号第3回編集委員会(41.1.26, 有楽ビル9階) 出席者: 関係者9名。議事: 第2校17件, 初校5件の作業を行なった。

(3) 技術資料第22号第4回編集委員会ならびに第5回幹事会(41.1.28, 有楽ビル9階) 出席者: 本間幹事長(兼編集委員長), ほか8名。議事: 1) 校正5

件。2) 繰上総会について。3) 支部内規制定について。4) 年次研究発表会および年次講習会開催について。5) 事務局移転について。

(4) 第4回評議員会(41.2.7, 勤銀ビル)出席者: 中村支部長(代本間幹事長), ほか18名。議事: 1) 改選役員選挙発表。2) 本部役員候補者の選考委員の推せん。3) 支部内規の制定。4) 繰上総会について。5) 事務局移転について。6) その他報告事項。

(5) 支部事務局移転

1) 移転期日: 41.2.10。2) 移転先: 札幌市南1, 西2, 勤銀ビル5階。

(6) 第6回幹事会(41.2.18, 市民会館)出席者: 山根幹事, ほか11名。議事: 研究発表会と講習会開催担当別打合せを行なった。

(7) 年次研究発表会(41.2.21, 市民会館)1) 発表件数22件。2) 聴講者100名。なお, 本発表内容は技術資料第22号として本印刷発行し正会員, 特別会員, 支部協会員には無料配付した。

(8) 年次講習会(41.2.22, 市民会館)受講者: 80名。講習科目: 1) 美々試験道路に学ぶ(土木試験所 小山道義

氏)。2) 最近の建設機械(建設機械工作所千葉 博氏)。3) 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリートの設計について(北大教授 横道英雄氏)。

(9) 昭和40年度支部繰上総会(41.2.22, 市民会館)総会次第: 1) 開会の辞。2) 支部長挨拶。3) 議長挨拶。4) 40年度事業ならびに会計報告。5) 会計監査報告。6) 役員改選結果報告。7) 新旧支部長挨拶。8) 閉会の辞。9) 懇親会。

○改選役員(選挙)支部長: 遊佐志治磨, 評議員: 小川博三, 小野早苗, 古泉栄一, 佐久間純一, 津田賢二, 能町純雄, 林正道(幹事長), 馬場嘉郎, 森田養育, 柳沢四郎, 安井寛治, 横道英雄, 監査: 高木陽一。

(10) 大会準備諸会議: 1) 会誌取材原稿打合せ(41.10.13, 41.10.28)出席者: 関係者3名議事: ①大会用記事取材, ②ポスター写真, ③プロ表紙図案その他。2) 大会総務委員会(41.11.18, 開発局): 募金対策協議。3) 学術講演第2回委員会(41.1.24, 北大)議事: ①講演申込みによるプロ編成。②発表会場の準備についてその他。4) 大会準備小委員会(41.3.14, 開発局): 出席者: 遊佐委員長, ほか6

名。議事: ①参加者用袋入れ資料について。②大会運営事務局設置について。③総会委員会の開催について。④その他。

◎関西支部

(1) 学生映画会(第9回)(41.2.26, 近畿大学)

上映映画: 摩耶埠頭建設の記録第1編, 同第2編, 新阪急ビル建設にかかる地下工法の記録映画, サンドドレーン工法の実際, ステンレス鋼管, 斜杭打込載荷試験, 合成桁橋実験。

参加者: 81名(正会員3名, 学生会員78名)。

(2) 講師懇談会(41.3.18, 好文倶楽部)出席者: 30名。

(3) 役員候補者選考委員打合せ(第2回)(41.3.2, 大阪府農林会館)出席者: 玉井支部長, ほか4名。

(4) 第3回評議員会(41.3.18, 好文倶楽部)出席者: 商議員17名, 他に委任状提出者7名, 評議員5名, 理事2名ほか11名。

(5) 第11回幹事会(41.3.18, 好文倶楽部)出席者: 玉井支部長, 松尾幹事長, ほか11名。

トンネル標準示方書

トンネル標準示方書解説

トンネル工学シリーズ 1 第1回トンネル工学シンポジウム  
トンネル工学シリーズ 2 最近のトンネル工学

—工事の実例と話題—

A 5判	34 ページ	定価	100 円	送料	30 円
A 5判	128 ページ	定価	600 円	送料	50 円
		会員特価	500 円		
B 5判	106 ページ	定価	350 円	送料	50 円
		会員特価	250 円		
B 5判	136 ページ	定価	500 円	送料	50 円
		会員特価	400 円		



本号が皆様のお手もとに届けられる頃は, 新緑の大変美しい季節だと思います。この美しいわが国土と何らかの関連をもって日々仕事をしているわれわれ土木技術者は, この美しい自然のめぐみをいつまでも保持するように, あるいはさらにいっそう緑を増やすようにときどき思いを新たにすることがあるのではないのでしょうか。前号に引続き通常号として, 関西支部の労作である土木公害問題の後半を中心に編集いたしました。

× × ×

学会誌が届けられると, 相当いそがしく仕事をしているときでもちょっと仕事の手を休めて表紙を開き, 目次, 口絵写真……編集後記までばらばらとページをめくられる方々が多いことと思います。そして“今月は俺の

読むところはないや”とか“よし, 後でここを読んでやろう”とかでまず一段落でしょう。学会誌は, このような読まれ方で結構です。編集委員会では, ない知恵をしぼって前者のような“ひとりごと”が2ヵ月と続かないように努力をしています。

編集委員諸氏の目が一段とかがやくのは, 読者の皆様からの反響が事務局から披露されるときです。批判, 助言, 悪口, 読後感, 何でも大変よろこんでお聞きしております。学会誌をよりよくするには, 編集委員会からの一方通行ではなく上記のごとき two-way system が大事です。特に重要なことは, 皆様方から日々の御仕事の成果をどしどし投稿して頂くことです。掲載しきれないなどということはございませんのでご安心のほどを!

[前田・記]